



な う 年 報

特定非営利活動法人「子ども虐待防止センター」 2019.4～2020.5



新理事長候補

新型コロナウイルスが世界中に蔓延している中、日本でも、東京、大阪をはじめ主要都市から、全国に罹患者が広まってしまいました。

岡本純子氏 密集・密閉・密接の「3密」を防ぐ重要性が叫ばれ
る中、5月23日に予定していた本会の総会も、他団体に
ならい、理事会において紙上での総会の実施という決定をいたしました。

総会後の理事会において、前内山雅之理事長の後任として、岡本純子理事を理事全員一致で選出する予定をしています。

岡本理事は、2000年9月「子ども虐待防止センター・しずおか」発足以来20年にわたって、本会の維持発展に全力で尽くしてこられました。この間、2度にわたる会の存亡の危機を、持ち前の熱意とバイタリティで乗り越えて来られ今日の安定に至っています。

岡本理事の長年に及ぶ活動を通じての児童虐待防止運動にかかわるの県内外のリーダーのみなさんとのつながりが、本会のレベルアップに大いに貢献してきたと言えます。

岡本理事は、今までの理事会において「会員同士のつながり、会員の資質向上、責任を果たす相談員」などについての発言が多くなされていました。

新体制においても、みなさまの持つ能力に応じたよりいっそうの貢献をお願いしていくことになると思います。

第6期電話相談員養成講座





6月16日から始まった養成講座、8月17日に全6日間の講座が終了しました。募集期間が短かったためか、4名という少人数の参加でした。その中で、相談員として活動しておられるのは山田恵子会員です。

3回のネット相談研修終了

県社協ふれあい基金助成を活用して、9月14日・12月22日・2月16日と3回の研修会を実施。10月12日に予定した研修会は、関東・東北に甚大な被害をもたらした台風19号のために開催できず、2月にまでずれ込んでしまいました。



第36回中日ボランティア賞受賞

第36回中日ボランティア賞・受賞7団体紹介

温かさ 届け続け

相談の電話は平日、十七時までの営業体験や大学の相談員が交代で応じている。相談員は積極的に徹し、自発的に話さずとも、電話するまでの雰囲気づくりに努める。子ども虐待や子育てのほか、過去に受けた虐待の相談も多いという。イ

電話相談で孤立を防ぐ

電話相談や街頭活動を通じて、虐待防止や子育てを支援し、虐待防止や子育てを続けてきた。常任理事の井出津夫さん（一職）は「現在の児童虐待防止法が場や地域で孤立している方が多い。電話を使って、日頃からの相談や性暴力の問題に取り組むことで、相談員を養成し、孤立を防ぐ」と話している。

NPO法人
子ども虐待防止
センター・しずおか



(静岡市)

児童虐待防止啓発活動に取り組むメンバーたち（静岡市で「子ども虐待防止センター・しずおか」を主催）

ボランティア活動を続けている静岡県内の団体を顕彰する同賞を受賞することができました。静岡県ボランティア協会小野田理事長の推薦を受けられたことにより実現できたと、感謝申し上げます。次第です。